

なんでも相談会 & インボイス制度個別相談会

要予約 TEL 03-3986-2471

12月のなんでも相談会は、15日(金)13時30分～15時30分まで1日4組。法律相談、税務経営相談です。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。

インボイス制度個別相談会は12日(火)、19日(火)、26日(火)10時～16時(45分毎)となります。



購読料は組合費の中に含まれています。
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日

祝 豊島支部の分会新聞 2紙が入選

東京土建「けんせつ」通信員総会

11月12日、東京土建「けんせつ」通信員総会に参加しました。午前中の記念講演に続き、午後は機関紙コンクールが行われました。コンクールは、予選を通過した29紙の中から、出席者の投票で入選紙が決まります。

投票は出席者全員が、予選を通った29紙の中から1人7紙を選んで投票します。どの機関紙も力作ばかりで、

手書きで力強い物や、パソコンで作る整然としている物など、様々で、どれも素晴らしい新聞ばかりあって、投票はとても難しい作業です。

そして投票数の多い順に7紙が入選となります。

豊島支部からは、南池袋分会の「けやき」と、さくら分会の「さくら」が予選を通過し、入選することができました。

さくら分会 野本陽子 教宣部員

毎月、分会新聞を作るには、行事に参加し、写真を撮り、記事メモを取っています。

「さくら」は2人で、2日間で作っています。1日目は、1面と2面の記事の配分と、写真のレイアウトを決めています。2日目で、記事書きをして仕上げます。出来上がった時の達成感

は、他では味わえないものがあります。

それは、2人で意見を出し合い、アイデアを出し合って、作り上げるからだと思っています。

入選することができて、毎月コツコツとしてきた事が救われた思い出、とてもうれしいです。

南池袋分会 新井睦子 教宣部員

分会新聞「けやき」を引き継いで4年目になりました。機関紙コンクールはうれしい三年連続の入選になりました。

最初は、女性の会の新聞「すまい」作りに参加することから始まりました。三人体制で作り、同じ分会の相良さんから新聞の作り方を教わりました。その後、分会新聞も相良さんから引き継ぐことになりました。本部や支部の教宣学習会で、記事の書き方や見出しの作り方など勉強しました。記事を書くために集会などに参加する

時、メモをとったりと物事をより考えるようになりました。

仕事もしているし一人で作っているので、記事や写真を分会の組合員さんをお願いしてる事も多いです。「この人を書いてもらったらいいんじゃない」と記事書きを組合員さんに頼んでくれたり、参考になるよと資料をもらったり、いつも分会の皆さんに協力して頂いてます。賞を頂いたのも皆さんのおかげだと思ってます。改めてありがとうございます。



さくら分会新聞『さくら』



南池袋分会新聞『けやき』

城北ブロックPAL、4年ぶりの従事者交流会を盛大に開催

城北ブロックPALは、11月26日(日)に4年ぶりとなる従事者交流会を開催しました。

PALは、主に野丁場従事者が集まる会で、この日は豊島支部を含む練馬支部、北支部、板橋支部の城北ブロック4支部が一堂に集結しました。イベントの第1部では、ボウリング大会が行われ、総勢42人が参加。コロナ禍の影響で中断していたイベントがようやく再開され、参加者は久しぶりのブロックでの交流を喜んでいました。

ボウリング大会の後、参加者は懇親会へ移動。途中参加者も含め、総勢58人が賑やかな雰囲気の中で親睦を深めました。懇親会では、各支部の活動紹介も行われ今後の展望や目標が共有されました。参加者たちは、これからも城北ブロックを盛り上げ、労働者の環境改善に向けて協力し合っていくことを誓い合い、交流会は幕を閉じました。

(PALの会担当 瀬谷書記)



教宣学習会

わかりやすい説明で新たな悩みも

11月1日、19時より支部会館において元本部教宣部の向井さんを講師に迎え、分会新聞や「すまい」のレイアウトについて学びました。

向井さんが現在編集長を務める「年金者しんぶん」を参考に、書き始めから仕上がりまで、作り方をテキストにまとめてわかりやすく説明してくれました。

分会新聞についても、号ごとに詳しく解説され、読みやすいレイアウトを心掛け、死角、左上と右下をまず押さえてから、右上から左下へ流すように編集をした方が無難だということも学びました。

自分たちが作った「さくら」についても、必要ない写真が入っていると、写真の表情や顔の向きについてなど、細かな注意を頂きました。写真に名前を入れたり、感想など加えても良いとアドバイスされました。

これからの新聞づくりは、いろいろなことを少しでも知ってしまった後は、悩んでしまいますが、学んだことが無駄にならないようにします。(石川博子通信員 さくら分会)



上池袋本町分会 秋の住宅デー

11月19日、池袋本町だんだん公園にて住宅デーが開催されました。

恒例の包丁研ぎや工作コーナーなどに今回は大きなノコギリ(オガ)で材木を切る木挽きのワークショップ、久々の食のコーナー、オープニングでは子供達による太鼓が披露されました。

女性の会では、平和をテーマとしてウクライナの国旗の色である黄と青色の三角巾を手作りして女性スタッフは着用しました。

私は事前準備から当日は工作の受け付けを担当しました。

今回は売り上げの1部を支援物資寄付で工作一つにつき100円でした。その為か若干少なめでしたが、2才から付き添いの母親までの47名の参加がありました。出来上がった作品を照れながらも笑顔で見せてくれて私も嬉しくなりました。

事前準備は大変でしたが子供達の笑顔や美味しいフランクフルト、味噌こんにゃく、普段見る事のない木挽きやその運搬を見れたのはスタッフとしてその場にいたからだと思います。

娘が小さい頃は工作が好きで遊びには何度も行きましたが、スタッフとしては2回目で、まだわからない事もあります。

当日はスタッフ40名弱、その中にはかなめ分会の組合員さんもいました。皆さまありがとうございました。お疲れ様でした。

世代交代の時期があります。若い方のお力や意見が必要です。子育て世代の会員さんのお手伝いもお待ちしております。ご来場して下さいました土建関係の皆さまありがとうございました。

(伏見智美通信員 上池袋本町分会)



上池袋本町分会住宅デー

トレーディングカード オリジナルパック販売

19日、上池袋本町分会住宅デーにお邪魔してきました。今回はトレーディングカード販売の為に参加しました。

採算度外視で販売しました。時間と労力を考えたら全く儲けがありません。そこらへんが皆さんに伝わっていないのが残念です。子供に来てもらい楽しんで頂くのが目的なので一人でも買ってくれば出店した意義があると思っています。しかし、一番高額なレアカードが当たってしまい大赤字です。しかも、30円足りないと言って知人からお金を借りて1パックだけ買った子供がレア景品を引きました。これには私もびっくりしました。他にも、お金が無いから親からおこずかいを貰って買ってくれた子もいました。これは嬉しかったです。今回の出店で改善点も発見し次回に生かしたいと思います。

(原田陽弘通信員 かなめ分会)



木工教室には600人以上が参加／ 大賑わいのワンパクまつり

毎年、勤労感謝の日(11月23日)に豊島区立総合体育場で開催されるとしまこどものつどい「ワンパクまつり」は、その名の通り、お子さんを対象にした区内で最大のイベントです。東京土建豊島支部では、15年以上この催しに参加しています。



4年ぶりの通常開催となった今年、豊島支部では木工教室、住宅相談、ミニ上棟式、そして初めて青年部の有志がフードコーナーを出店しました。総勢35人の組合員が参加しました。

季節外れの暖かさにも恵まれ、3千人以上が来場者し、豊島支部の木工教室には約600人以上の親子連れが遊びにきました。またフードコーナーでは500本以上のフランクフルトと、ほぼ同数のポップコーンを販売しました。あまりの忙しさに、青年部の仲間たちは昼食に用意したお弁当にも手を付けられない状況でした。イベントの最後は、恒例の上棟式、お菓子まきでお祭りを締めくくりました。

豊島区民への東京土建のアピールの他に、上棟式や木工教室の技術の継承と、将来の建設業を担う人材の発掘、そして何よりも、組合員同士の協力と信頼を深める取り組みとして、大きな成果がありました。

集団検診

日時 次回の集団検診、女性健診は2月の下旬から3月上旬あたりの日曜日に開催を予定しています。

東京健生病院については、2/25(日)に開催、その他の会場については、調整でき次第お知らせいたします。本年度最後の集団健診となるので、未受診の方はこの機会にぜひよろしく申し上げます。

上級救命講習の開催

日時 2024年
1月28日(日)

場所 池袋消防署
(イケビズとなり)

時間 9時～5時 昼食は各自にて

代金 2,800円
チームナマズ会員及び後継者世代(50歳代)には支部から2,000円の補助がでますので、800円で受講できます。



秋の拡大月間 支部目標を達成 ご協力ありがとうございました

2023年秋の拡大月間は、16年連続全分会目標達の成果を勝ちとり、95人の仲間の加入で11月1日組織人員を2,084人となりました。(4.62%増)東京土建全体でも、26支部で月間目標を達成しました。

新しい仲間を迎えました 豊寿クラブ

豊寿クラブは、発足してから2023年6月で18年を迎えました。世代交代が進むなか、組合活動の先駆者として培った経験と力を生かし、地域や支部・分会で頼られる存在として活躍しています。

豊寿クラブの秋の拡大は、本部の設定した10人に向かって役員・幹事が中心となり、65歳以上の仲間に声をかけを行いながら拡大行動に取り組みました。会員同士の協力で11人の新加入者を迎えることができました。みなさんに感謝しています。

豊寿クラブは組合が渴望するバイタリティーを持った仲間の集まりです。組合活動には欠かせない存在です。引きつづき会員の力を結集し、様々な運動に貢献すると同時に、親睦・交流を深めながらシニア世代の要求実現にむけて、活発な取り組みを展開していきたいと思っています。いつまでも元気にいきいきと過ごすために。

(間辺美恵子 豊寿クラブ会長)



後列右から二人目が間辺会長、写真は南池袋分会の仲間たち

自主目標の16人の 会員拡大目標を達成 女性の会

支部女性の会は、9月2日の拡大委員会で、全体と分会ごとの自主目標などを確認して、10日に開催したバスハイクの昼食時に「女性のつどい」を行い、「元氣な声掛けで仲間の輪を広げよう!」のスローガンのもと、16人の自主目標に向かって精一杯頑張ろうと心をつにしました。

最初のうちは、なかなか会員拡大が出来ませんでしたが、中盤以降は拡大の成果が増えて、最終日には、自主目標を達成することができました。事業所所属の会員さんも新会員を誘って下さり加入となり、分会女性の会の無い分会でも、担当書記や分会役員の協力で2人の加入がありました。

各分会の会員さんがあきらめず頑張ってお下さり、組合員さん、支部の協力を頂いて達成したことに感謝して、今後も全世代の会員が仲良く笑顔で活動していきますので、皆様のご協力をお願いします。

(山本明美 女性の会会長)

